

## 平成 28 年度 他大学実習アンケートまとめ

### 参加学生の特徴

性別では、女性 67.9%、男性 32.1%であり、女性の方が多い傾向が見られた。また学年では、2 年生が 49.7%で最も多く半数近くを占めており、次に 3 年生が 24.2%で 2 番目に多かった。1 年生は 12.5%、4 年生が 11.9%であった。

表 1 参加学生の特徴

属性		度数	%
性別	男性	54	32.1
	女性	114	67.9
学年	1 年生	21	12.5
	2 年生	83	49.4
	3 年生	41	24.4
	4 年生	20	11.9
	大学院生	3	1.8
計		168	100

### 実習の評価

実習参加による農業や食に対する学びや考えの変化を 5 段階評価で尋ねた。結果、「自身の専門分野への興味が増した」以外の 6 項目で 80%以上の回答者が「思う」「非常に思う」と回答しており、農業の実態や食の安全・安心について学ぶという実習の目的は達成できていると考えられる。また「自身の専門分野への興味が増した」についても 70%以上の回答者が、「思う」「非常に思う」と回答しており、専門性を深める上でも有意義な実習であったと考えられる。

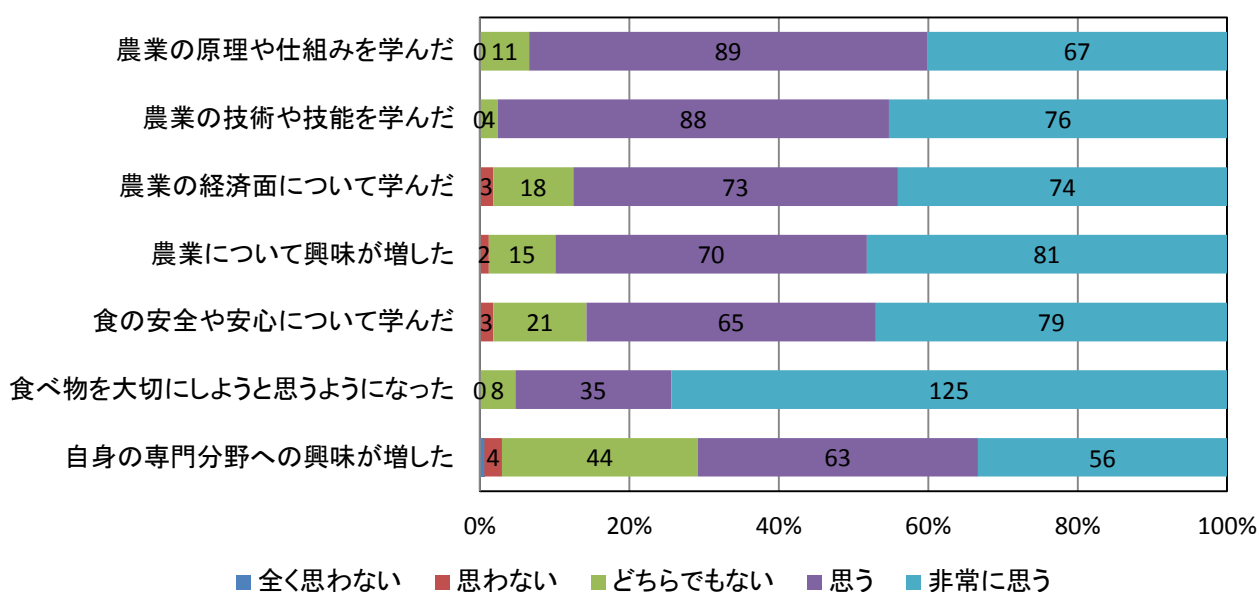


図 1 実習参加による学びや考えの変化

実習満足度を4項目で尋ねた。結果、「実習内容」「総合的満足度」は、90%以上の回答者が「思う」「非常に思う」と回答していた。また「宿泊施設」についても、約80%が「思う」「非常に思う」と回答しており、生活面も含めて実習の満足度は高いことが示された。「また機会があれば参加したい」についても80%以上が「思う」「非常に思う」と回答していた。

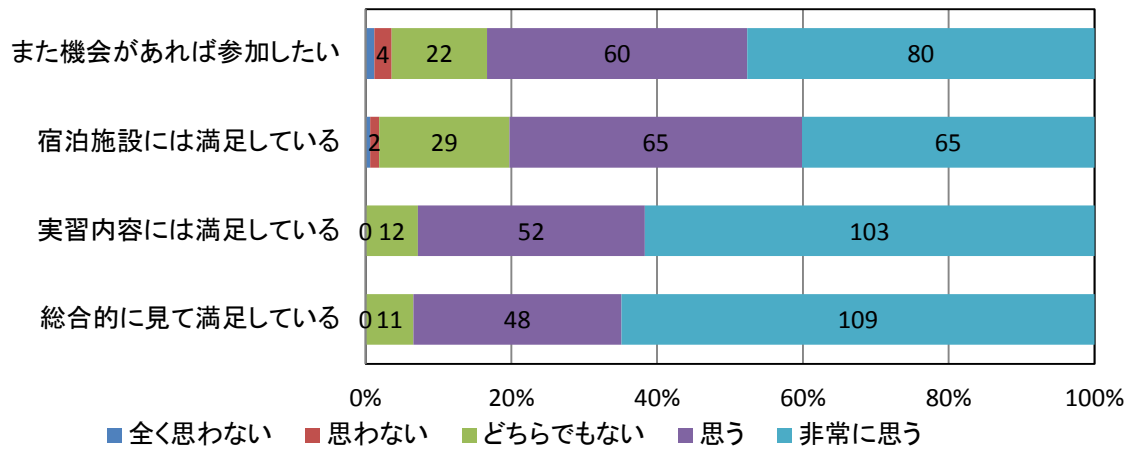


図2 実習の満足度